

## 平成20年仕事納め式訓示

平成20年12月30日

みなさん、平成20年の仕事納めを迎えました。

一年間、本当にご苦勞様でございました。

心から御礼を申し上げる次第でございます。

しかし、今年は職員の皆さんに大変な負担を強いた一年であったように思います。体調をくずされたり、手術をしたりとみなさんにとっても苦しく厳しかった年であったと思っています。

加えて、今、世界的な景気後退の中で、今年が暮れようとしているわけでもあります。

これまで、わが国の経済、景気を支えてきたトヨタを始めとする自動車産業や電気産業が世界不況の影響から大きく売り上げを減らし、そのために、雇用不安を引き起こしています。

さらには、円高により利益の減少で赤字経営となり、本当にわが国の経済、景気の悪化になっているのであります。

麻生総理は「100年に一度の大不況」と、来年度の予算をこれまでの緊縮財政から一転、33兆円以上の赤字国債を発行して、90兆円に迫る史上最大の財政出動に方向転換をいたしました。これにより、財政健全化も遠のいたように感じられますが、しかし、私たちは、孫子の代に、借金のツケをまわすわけにはいかないわけであります。そのことを、私は、今、私たちが考えなければならない大事なことであると思っております。

これまでも何度か申し上げてきましたが、地方自治体の財政状態を表す「実質公債費比率」もわが町では「26.9」から「26.2」に、そして昨年度は「24.2」と、まだまだ厳しい水準にはありますけれども、みなさんのご理解ご協力のおかげで、確実に健全化に向かってまいりました。

結果として、私は、そのことが町民皆さんの幸せにつながっていると思っています。そして、職員の皆さんにもその認識を持っていただきたいと思います。

したがって、これまでと同じように「集中改革プラン」を着実に実行していくことが必要であります。

職員組合のみなさんから「期末勤勉手当や時間外手当」のお話がありました。しかし、私は、皆さんに現在の状況を理解していただきたい。世の中が、景気や雇用がこれだけ冷え込んでいることの認識をしっかりと受け止めていただきますよう改めてお願いする次第であります。

いよいよ、明日から年末年始の休みになります。

今年の仕事始めの際に、公務員として「清く正しく美しく」そして「スピード」感あふれる仕事をしよう。また、「ほうれんそう」を励行して、「礼文に元気を取り戻していただきたい」と申し上げました。おかげさまで、私は、各分野において「元気な礼文づくり」が、確実に一步一步、歩み始めたと感じ、大変に嬉しく思っているところでございます。しかしながら、世の中が不景気になればなるほど公務員に対する目は厳しくなっておりまいます。新年度に向け、さらに事業を進めていただきたいと考えているところでございますので、先日の予算編成会議におきましても来年は、大変に忙しい対応となることをお願いしたところであります。

私は、常に、職員のみなさんが町を元気にする原動力になっていただきたい。 みなさんお一人お一人の力が、ふるさと礼文町を元気にできるんだということを是非今一度、意識していただきたいと思うわけであります。そして、公務員としての自覚を忘れず、責任ある行動をしていただきたいと心からお願いを申し上げる次第であります。

それぞれが、今年一年を振り返り、来年に向かって羽ばたいていただくことを希望いたします。

最後になりましたが、明日から大切なご家族ともども、ゆっくりとお正月をすごされまして、きたる新しい年2009年に向かって、しっかりと鋭気を養っていただきますようお願いを申し上げますとともに、交通事故には十分気をつけられ、事故をおこさない、事故に遭わないよう、そして、仕事始めに元気でお会いできることを楽しみにして、仕事納めのあいさつといたします。

今年一年、大変ありがとうございました。